

セラピストのための『解剖生理学』

体系的に解剖生理学を学ぶ

セラピーを学ぶ際の基本となり、必須になるのが「解剖生理学」の知識です。



この講座では、コメディカルの学生が使用するレベルのテキストとして定評のある『からだの構造と機能』（西村書店）を用いて、豊富な分かりやすい図とともに理解を深めていきます。

この機会にしっかり基本を身につけていきましょう。

<各回の講義内容>

◎テキスト『からだの構造と機能』A・シェフラー、S・シュミット著、三木明德、井上貴央監訳、西村書店
4,800円＋税（各自でご用意下さい）

第1回(1/27): 身体の組織

第2回(2/10): 生体防御(免疫)、血液

第3回(3/9): 筋・骨格系

第4回(3/23): 皮膚、感覚

第5回(3/30): 脳神経系

第6回(4/13): 内分泌系

第7回(4/27): 循環器系

第8回(5/25): 呼吸器系

第9回(6/8): 消化器系

第10回(6/22): 泌尿・生殖器系

◎申し込み方法

件名を「解剖生理学講座申込みの件(氏名)」とし、下記の項目をメールまたはファックスでお送りいただき、お振込み下さい。振込みをもって正式受付とさせていただきます。

① 講座名 ② 日程 ③ 氏名(ふりがな) ④ 住所 ⑤ 連絡先(当日つながる電話番号) ⑥ メールアドレス

- 受講料: 全10回 38,500円、単回受講は1回 3,850円(消費税改訂のため)
- 講師: 降矢英成(赤坂溜池クリニック院長)
- 対象はどなたでも。セラピーの際の基本となる「解剖生理学」を学びたい方。
- 日程: 基本的に第2・4月曜の19:00~21:00
1/27・2/10・3/9・3/23・3/30・4/13・4/27・5/25・6/8・6/22

<講座内容のポイント>

* 解剖学の基本「組織」

“体系的に学ぶ”ことがきちんとした学習の基本になりますが、まずは細胞と臓器の間に位置する「組織」という構造をマスターしましょう。

* 免疫の前に「生体防御」

免疫とか免疫系という言葉はよく知られていますが、本来は広い意味で体を守る「生体防御」という大きなシステムの中の機能です。

* 「結合組織」と膠原病

「膠原病」はよく知られていますが、結合組織の中の“膠原線維”が自己免疫を起こし、発症することから命名されました。正確には「結合組織病」といいます。

* 腎臓、心臓からの新しい「ホルモン」

ホメオスタシスを維持する重要なホルモンですが、最近になって新しく腎臓や心臓からも分泌されていることが分かってきました、、、。

* 「神経伝達」の仕組み

うつなどで話題になっているセロトニンなどの神経伝達物質がありますが、その伝達の仕組みにはNa、KなどやCaなどの物質が関わっています。

■ 主催・お問い合わせ: (有)ホリスティックヘルス情報室

Eメール: hic@a7.rimnet.ne.jp FAX: 03-5572-8219

URL: <http://holistichealthinfo.web.fc2.com/index.html>

◎ お振込先

三菱UFJ銀行虎ノ門中央支店 普通5832950 (有)ホリスティックヘルス情報室

